

日 時：令和5年2月8日（水）15:45-16:30

場 所：大田区役所2階 201、202 会議室

出欠者：別紙委員名簿参照

傍聴者：2名

---

## 1. 開会

### 【事務局】

- ・本日の協議会は、すでに設置の「大田区交通政策基本計画推進協議会」に「公共交通不便地域における実証実験、デマンド型交通」に係ることを協議いただくため、要綱を改正し、道路運送法に基づく地域公共交通会議の要素を追加し、開催するものであることを報告いたします。
- ・本地域公共交通会議は、設置済みの協議会に、道路運送法に基づく委員を構成しており、引き続き会長は屋井委員、副会長は清水委員にお願いいたしますことをあわせて報告いたします。本日、会長の屋井委員がご欠席のため、本協議会「設置要綱」第4条第5項、の規定に基づき、清水副会長に会長の職務をお願いいたします。

## 2. 委員紹介

## 3. 議事及び報告事項 公共交通不便地域における実証実験について

### 【清水委員】

- ・それでは、事務局から説明をお願いします。

### 【事務局】

- ・本事業は、東急バス株式会社様が事業の実施、運行主体となります。事業内容については東急バス株式会社様よりご説明いただきます。

### 【東急バス】

（資料説明）

### 【清水委員】

- ・ありがとうございました。これから各委員の皆様からご意見やご感想等を受け付けたいと思います。いかがでしょうか。

### 【西山委員】

- ・一点補足として、今回の地域について区内の状況を説明させていただきます。区内には、交通不便地域と設定しているエリアが10ヶ所あり、具体的には、鉄道駅から500mもしくはバス停から300m以上離れた、いわゆる交通の空白地帯です。

- ・そのうち矢口地区では現在、たまちゃんバス（コミュニティバス）を運行しております。当初、矢口地区と、今回記載の南馬込地区、西蒲田地区の3ヶ所が、区内の不便地域の中で優先的に取り組んでいく必要があるということで矢口地区に先にコミュニティバスを導入した経緯があります。
- ・時間が経ってしまいましたが、様々な代替手段も出てくる中で、残り2地区の南馬込、西蒲田についても公共交通不便地域の解消に向けてデマンド型交通の実証実験を進めていきたいということで、東急バス様と調整を図ってきた次第です。

**【清水委員】**

補足のご説明ありがとうございました。それではご意見を受け付けたいと思います。いかがでしょうか。

**【馬込地区自治会連合会 北村委員】**

- ・バスの運行について質問です。灰色の破線がバスの運行ルートということでしょうか。

**【東急バス】**

- ・はい。灰色の破線は既存の定時定路線のバスルートでございます。

**【馬込地区自治会連合会 北村委員】**

- ・それでは、今回はどこを走るのでしょうか。

**【東急バス】**

- ・今回は、赤い破線内が運行範囲となります。

**【馬込地区自治会連合会 北村委員】**

- ・例えば、ミーティングポイント㊸から㊹に行く場合、希望通りに行けるのでしょうか。どこを運行するのかが分かりにくいです。

**【東急バス】**

- ・運行ルートは決まっておりません。決まっていなと言いますか、予約はアプリもしくは電話で受け付け、その予約内容に応じて、A Iにて配車計算をします。その結果に基づいて我々の乗務員が運行するという事です。決まった運行ルートがあるわけではございません。

**【馬込地区自治会連合会 北村委員】**

- ・運行ルートは決まっていなとなると、乗った人はいつ着くのか、時間が分からないのでしょうか。

**【東急バス】**

- ・アプリの説明が不足していたかもしれません。予約いただく際に「何時に乗って、目的地へ

何時頃に到着します」ということも含めてご予約いただきます。もちろん道路状況によって到着時間が前後する可能性もございますが、お客様ご自身が、目的地に何時頃に着くということは分かった状態をご利用いただけるように考えております。

**【馬込地区自治会連合会 北村委員】**

- ・もう1点ですが、南馬込地区には西馬込駅があります。その周辺にミーティングポイントが示されていないようですが、いかがでしょうか。

**【事務局】**

- ・現在、西馬込駅周辺は、ミーティングポイントは記載されておりませんが、今後、西馬込駅への接続のニーズや意見があるようでしたら、警察との実査、関係機関や東急バス様との調整の上、西馬込駅周辺への設置は検討をしていきたいと考えております。

**【清水委員】**

- ・ありがとうございます。利用の状況を見て少しずつ変えていくということかなと思います。ほかにいかがでしょうか。

**【大田観光協会 田中委員】**

- ・今のことも少し関係するのですが、池上本門寺を対象として考えていないかなと思います。山の上になぜミーティングポイントがないのかということと、地下鉄の馬込の方からもアクセスがあるように思いますので、ご検討いただいた方がよいのではと思っております。いかがでしょうか。

**【事務局】**

- ・今、示しているミーティングポイントは、先ほどご説明したように公共施設や病院等を基準に設置しておりますが、山の上が抜けているようなところは、先ほどの西馬込の駅と同様にご要望やご意見があれば追加を今後検討していきたいと思います。現状ではそのような施設がないため外れてしまっているところがありますが、今後の検討の対象にしたいと思います。

**【大田観光協会 田中委員】**

- ・観光拠点としてぜひやっていただきたいと思います。

**【清水委員】**

- ・最初は住民系のサービスという視点かもしれませんが、観光の視点をうまく入れることによって運行率を上げたり、収益を上げたりということも可能かもしれません。様子を見ながらご検討をいただければと思います。ほかはいかがですか。

**【蒲田西地区自治会連合会 橋本委員】**

- ・先ほどの東急バスさんからのお話で、乗客を次々に拾っていくと、最初に乗った人がとても

遠回りになってしまい、非実用的なような感じがします。そういう折り合いはどうかのしょうか。

#### 【東急バス】

- ・現在、予約アプリの仕様については調整している段階ですが、最初にご予約いただいた移動時間、例えば、3時に配車して3時10分までに目的地まで到着するという時間でご予約いただいたものを、ほかの方との相乗りとはいえ、大幅に崩すことになってしまっはいけないと思います。そのため、他地域で行った事例では、相乗りできるタイミングでは相乗りし、難しいようであれば、少し時間を前後させて移動いただくということで、配車アプリで自動的にAI計算をした上で、なるべく皆様が使いやすいように、著しく遠回りにならないように考えております。

#### 【清水委員】

- ・少し混乱があるかもしれませんが、利用シーンみたいなものを私自身も聞いてみたいです。例えば、今この西蒲田地域で⑪から③まで行きたいというオーダーがあったとします。たまたま今バスに誰も乗っていないという場合であれば、まずこの⑪のリクエストに対して利用者を拾いに行き、乗せて③まで動きますと。その経路の通り方は決められたものがあるわけではなく、基本的には一番近い道で行きますということです。そして、例えば乗っている途中で⑫あたりで同じく③に行きたいですという次のリクエストがあったときには、うまく時間と場所が合えばその人を乗せて相乗りにすることになるということですよ。

#### 【東急バス】

- ・その通りでございます。

#### 【清水委員】

- ・それから例えば⑪から③にこの時間で行きたいというリクエストをしたのに既に動いていて、迎えに行くのにかなり大変そうな位置にバスが動いているから、それは少し時間を前後して「それでも使いますか」ということを聞くということでしょうか。時間を遅らせても乗れるということであれば、おそらく要望した時間よりも少し遅い時間で予約が確定するということだと思いますが、こういう理解でよろしいですか。

#### 【東急バス】

- ・おっしゃっていただいた通りです。

#### 【清水委員】

- ・そういうことをスマートフォンのアプリケーションで、ある程度自動的に計算をして予約を示してくれるというサービスだと思います。

**【蒲田西地区自治会連合会 橋本委員】**

- ・私たちの地区は非常に道が狭く、乗客が待てる場所も限られます。そのため、いろいろな道路を使うということはできないと思います。そうするとやはり定期的なバスのような、ある程度のポイント、ポイントで決まった形でしかできない気がします。私は地元ですが、実際、蒲田駅に行ける道路はあまりありません。これは大型のワゴンだと思いたすが厳しいのかなと思います。

**【清水委員】**

- ・そのあたりも少し試行しながら進めていただきたいと思います。実際にいろいろなところを縦横無尽にバスが動かさないとすると、想定よりも地点間の移動時間がかかり、予約が取れない可能性もあります。進めていく中で、ある程度評価することになると思います。ほかはいかがでしょうか。

**【池上地区自治会連合会 樋口委員】**

- ・私は池上地区代表で出ているのですが、ミーティングポイントについてどうするかはこれから決定されると思いますが、この地図の真ん中、中央5丁目あたりはミーティングポイントがありません。周りには作ってもらっているので、ミーティングポイントをどう活かしていくか、楽しみに待っております。よろしくお願いします。

**【東急バス】**

- ・承知しました。一旦は案という形で本日お示ししておりますが、運行を始めてからもブラッシュアップしていく必要があると認識しておりますので、今後の参考とさせていただきます。どうもありがとうございます。

**【清水委員】**

ほかはいかがでしょう。

**【大田区議会議員 高山委員】**

- ・先ほど西山部長から交通不便地域についての説明がありました。私の地元は矢口地区で、たまちゃんバスの運行エリアです。たまちゃんバスはコミュニティバスで、決められたルートを走る定期運行のバスですけれども、少しでも交通不便の解消に繋がっていると地域でも非常に喜んで利用している方が多いです。今回の西蒲田と南馬込でデマンド型交通の実証実験は非常に期待をしているところです。
- ・アンケートはいつ頃行う予定でしょうか。7月から運行開始なので、間に合うようであれば、スタートから希望に添えるように活かしていただければと思うのですがいかがでしょうか。

**【東急バス】**

- ・アンケートの詳細は、今後検討する部分もありますが、開始時期としては、事前ではなく、運行開始当初からしばらく継続して実施していこうと考えております。

【大田区議会 高山委員】

- ・あと半年ほどありますので、できれば事前にアンケートをして、その結果を踏まえた上でミーティングポイントを設定して欲しいです。
- ・アンケートですが、いろんな項目が書いてありますが目的地が書いてありません。「デマンド型交通を利用した際にあなたはどこへ行きたいですか」ということを、一番聞かなければいけないのではないのでしょうか。そしてそこをミーティングポイントとして設定していく必要があると思います。

【事務局】

- ・まずアンケートの目的地につきましては、アンケートのデータ取得に必要なことだと思いますので、追加させていただきたいと思います。
- ・アンケートの開始時期については、実際に利用した方が主な対象かと考えております。しかし事前にどういったことを望まれるか、周知方法も含めて考えていきたいと思っております。

【大田区議会 高山委員】

- ・もう1点確認です。実証実験ということは、本格運行を想定して1年間の実証実験を行うと解釈してよいのでしょうか。もしくは、一度中止することになるのでしょうか。
- ・1台のバスで偶数日と奇数日を分けて運行するとのことですが、本格運行を想定しているのであれば、なるべく利便性が高い方が利用率は上がると思います。初期費用などのこともあると思いますが、ぜひ1台ずつ毎日運行いただけたらというのが希望です。その2点についていかがでしょうか。

【事務局】

- ・本格運行への移行については、実証実験を行ってみて、どのぐらいのニーズがあるかを精査しながら検討を進めていきたいと思っております。
- ・運行日を隔日としておりますが、今後、実証実験を進めていく中で、隔日にするのか、エリアの設定も含めて再度検討していく必要があると思っておりますので、データを取得しながら検討を進めていきたいと考えております。

【大田区議会 高山委員】

- ・たまちゃんバスについても、どのような段階で本格運行に移行していくのかを決めずに実証実験をスタートしたため、本格運行への移行は大いに難しい課題だったと認識しています。
- ・ある程度進んでからでもよいかもしれませんが、利用率、利用者数なのかわかりませんが、どのような段階であればそのまま本格運行に進んでいくという目標や基準を決めて進めていただけたらありがたいです。ぜひともよろしく願いいたします。

【清水委員】

- ・確かに、どのぐらい乗ると維持できるのかという市民目線としての目標値というか、皆さんがどれほど乗らないと維持できないのかという視点は、非常に大事だと思います。

- ・スケジュールについてですが、運行を申請する際に、おそらくミーティングポイントも合わせて申請が必要だと思います。そのため、許可のスケジューリングから考えると、事前にアンケートを行いミーティングポイントの再編をするのは、スケジュール的に難しいという理解でよろしいでしょうか。そのため、いまの設定で申請をし、それに基づいて運行してみて、その後の利用状況などに応じて臨機応変に見直していくという理解でよろしいでしょうか。

#### 【東急バス】

そのように考えております。

#### 【大田区商店街連合会 北見委員】

- ・説明はよくわかりましたが、問題なのはアプリです。私どもは、大田区デジタル券をやりましたが、基本的に70歳以上のデジタル券利用は本当に少ないです。今回これを使われる高齢の方は、間違いなくアプリを使える方が同じく少ないと思います。一緒にいらっしゃる方がケアされている方にアプリの使い方を教わって使わなければいけない。そうするとまず無理です。馬込は山坂が多く、距離ではなく高低差で測ったら一番ひどいところですよ。この辺にはお年寄りの方がたくさんいらっしゃいます。それをどのように考えるのかがポイントになると思います。
- ・運賃について。大変ご苦労されている生活難の方からも300円取るのでしょうか。

#### 【清水委員】

- ・非常に大事な視点ですね。一方で電話もありますから、電話をどう使うかということもきちんと想定しておいていただければと思います。

#### 【事務局】

- ・皆様ありがとうございました。デマンド型交通の実証実験を実施するにあたり、道路運送法に基づく地域公共会議で協議が調った、ということが必要となります。そのため、本日付けで「道路運送法第9条第4項及び同法施行規則第9条第2項にかかげる協議が調っていることの証明書」を提出資料とあわせて関東運輸局へ提出させていただきたいと思っております。本日、委員の皆様から様々な意見を頂戴しましたが、それらの意見を踏まえながら、今後引き続き進めていきたいと思っております。

#### 【清水委員】

- ・いろいろと意見が出ましたので、そういったことも反映しながら合意をされたということで、協議が整った証明書を必要資料とあわせて速やかに申請手続きに進んでいただきたいと思います。それでは、続いて今後のスケジュールについて事務局からお願いいたします。

## 4. 閉会

#### 【事務局】

- ・本日、地域公共交通会議で協議、同意を得られましたので、今年の令和5年4月上旬に国土

交通省関東運輸局へ申請したいと考えております。その後、申請の許可をいただけた前提になりますが、周知期間を経て7月から実証実験開始する予定となっております。

また、実証実験開始後は、利用者アンケートや利用状況等を見ながら、見直しを図っていく予定です。

- ・今のところ半年後を目途に、中間報告として地域公共交通会議を開催することを考えております。またその際は委員の皆様にご協力いただければ幸いです。

#### 【清水委員】

- ・それでは、これもちまして 令和4年度 第2回大田区交通政策基本計画推進協議会、地域公共交通会議を閉会といたします。どうもありがとうございました。

以上